

授業改善推進プラン

西東京市立谷戸第二小学校

平成25年度学力向上を図るための全体計画

<学校の教育目標>

○とりくむ子 ○考える子 ○やさしい子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

基礎的・基本的な知識・技能の定着や問題解決学習の充実を進め、学び方や考える方法の習得や活用を通して、思考・判断・表現する力の育成を図る。学力向上のため「子供の学びのエンジンを動かす」「習得・活用・探究のある学びを創る」を踏まえて、授業改善を進める。

○校内研究を通して

<研究主題> 「運動の楽しさを体感し、意欲的に取り組む体育授業

～体づくり運動に焦点をあて、子供の生活・運動習慣の変容を視野に置いて～

○平素の授業を生かして

・教員相互に授業を見合い、指導力の向上を図る

確かな学力向上に向けた具体的な取組

- 改善の視点**
- 言語活動を充実させた授業構成を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
 - 授業に結びつく学習の構え<宿題・忘れ物>や学習規律の共通化を図るとともにその大切さを繰り返し指導する。
 - 問題解決型の授業を意識して推進する。特に、学習の見通しをもたせることを大切にする。
 - 高学年においては、教科担任的な指導形態を取り入れ、多くの教員が各学級の授業に関わる。
 - 体育科の体づくり運動に視点をあてて、体力の向上をめざす。
 - 1年～4年の算数少人数指導を推進し、一人一人の学力の向上をめざす。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習を進めることを大事にするとともに、課題解決する喜びを味わうことができるような学習指導の充実を図る。 ・説明する活動や話し合う活動、調べ学習、書く学習など工夫した授業を展開し、言語活動の基盤をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習指導を充実させるため、ゆとりある授業時間数の確保をする。 ・高学年の教科担任的な指導形態が可能になる指導計画の工夫をする。 ・算数少人数指導を進め、習熟度を意識しながら基礎的・基本的な力の習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画の見直しや改善を図るとともに年6回の研究授業を実施する。 ・OJTとして教職員が相互に日常の授業を通して研修できるような工夫をする。 ・教員相互に授業を見せ合い指導力の向上をめざす為、授業改善交流週間を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、ノート指導、観察、発言等を活用し、確実に個人の学習成果を評価し、授業改善に生かす。 ・評価に関わる学習活動の充実を図り、児童の自己評価・相互評価力を学習活動に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がボランティア活動として、学習補助などに積極的に参加できる工夫をする。 ・学校運営連絡協議員・学校関係者評価委員との連携を図り、適切な外部評価を得た教育活動の充実を図る。

<平成25年度の東京都学力向上を図るための調査に見られる課題>

- 国語では、言語についての「知識・理解」や「読み取る力」に課題があることが捉えられた。
 - ①指示語が指し示すものを的確にとらえること
 - ②二つの資料の内容を比較・関連付けて読み取ること。
- 社会では、特に「思考・判断・表現」や「知識・理解」に課題があることが分かった。
 - ①資料にまとめられていることを正確に捉え、理由を考えること。
 - ②県の名称、位置、東京都との関連を理解すること。
- 算数では、特に「知識・理解」「読み取る力」「解決する力」に課題があることが捉えられた。
 - ①数量や図形について理解すること。
 - ②考えたと図・式を関連付けて読み取ること。
 - ③意図や背景、理由・解釈・推論して解決すること。
- 理科では、特に「思考・判断・表現」「解決する力」に課題があることが捉えられた。
 - ①様々な性質や事象について関連付けて捉えること。
 - ②自然事象について分かったことと関連付け、推論すること。

<授業改善の課題>

- 全教科において実践を通して、次の視点をもって授業を練り上げていくことが授業改善につながると考える。
- (1) 言語活動の充実を踏まえた授業構成
 - (2) 指導のねらいを明確にし、見通しを大切にしながら調べたり集めた情報を整理分析したりする学習活動の在り方の追究
 - (3) キーワードを捉え、段落関係を読み解く力を高める指導の工夫
 - (4) 指示語、主語・述語等の文法指導の重視
 - (5) 子供の問いや意欲を喚起する学習問題を設定し、既習事項や新たな情報を活用し、問題解決を図る授業の推進
 - (6) 情報などを比較・分類・関連付けて、理由や規則、特徴を見つけ、新たな知を創り出す話し合い活動を重視
 - (7) 自分の考えを見える化して組み立てたり友達との考えなどと関連付けたりして、自分の考えを創り、深めていけるノート作りの段階的な指導
 - (8) 必要な情報を正確に取り出し読み取るために、本や新聞を読む生活習慣の確立
 - (9) 家庭と連携した家庭学習の充実

